

2012年4月25日

## 2階建賃貸住宅商品「Vieα Freetha（ヴィー・アルファ・フリーサ）」発売 “戸建感”デザインが街並みに調和、“高いクオリティ”をもつ賃貸住宅

トヨタホーム株式会社（以下トヨタホーム、取締役社長 森岡仙太）は、戸建住宅と同等の品質を有し、邸宅風のたたずまいを持つ、ファミリー向け2階建て賃貸住宅商品「[Vieα<sup>※1</sup> Freetha<sup>※2</sup>（ヴィー・アルファ・フリーサ）](#)」を4月25日（水）から首都圏、東海圏、近畿圏のトヨタホーム販売店を通じて発売します。トヨタホームが持つ工法の一つ、スチールハウス工法による初めての賃貸住宅企画商品となります。既存の鉄骨ユニット工法の賃貸住宅商品「シンセ・スマートメゾン」に「[Vieα フリーサ](#)」が加わったことで商品バリエーションが拡大、これを機に賃貸商品の販売拡大を図ります。

「Vieα フリーサ」は、賃貸市場が飽和気味になりつつある中で、賃貸であっても今後ニーズが高まるとされる“高いクオリティ”を持つ賃貸住宅商品として開発しました。

「Vieα フリーサ」の訴求点は、ファミリー向けにふさわしい賃貸住宅として、“戸建感”やライフスタイルの豊かさへのこだわりです。

“戸建感”では、住宅街への融合という観点から“邸宅風たたずまい”目指し、外観デザイン（寄棟タイプ、切妻タイプ）は街並みに調和するデザインとしています。

ライフスタイルの豊かさでは、①LDK（リビング、ダイニング、キッチン）を広くとった（奥行き6m以上）②キッチンは対面式とし大きめのサイズにした（幅2100mm）③風呂の広さも十分に（1.6×1.6m）など、長期に住んでも満足いただける間取りとし、戸建で使われるアクセントクロスやニッチ（飾り棚）、パントリー（食品保管庫）、くつろげる広さのバルコニーなどにこだわりました（一部装備できないプランもあります）。

こうした特長から、長期安定経営を目指すオーナー様に価値ある資産を提供できる賃貸商品であると考えています。

「Vieα フリーサ」は重層、メゾネット、共同住宅の3タイプを用意。重層タイプは一般的に1階と2階専有面積が大きく異なる場合が多い中で、1、2階とも2LDKとして入居者募集のしやすさを重視しました。



重層長屋タイプの外観

トヨタホームでは、鉄骨ユニット工法の賃貸商品「シンセ・スマートメゾン」と今回のスチールハウス工法による「Vieα フリーサ」、更にプレキャストコンクリート（PC）工法の賃貸住宅を含め、今後商品ラインナップを拡充、賃貸事業の強化を図っていきます。

※1 Vieα：トヨタホームのスチールハウス工法住宅のブランド名。

※2 Freetha：「自由+Toyota Home Apartment」の造語で、自由設計アパートの意味を込めています。

■価格：3.3㎡あたり50.0万円台（税込み）から。

■販売目標：80戸（2012年度）



奥行き6m以上のLDK



対面式のキッチン



ニッチ（飾り棚）がある玄関ホール



<重層長屋タイプのプランの例>

以上

□「Vieα フリーサ」ご紹介ページはこちら

トヨタホーム株式会社

〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目23番22号

ホームページ：www.toyotahome.co.jp

※本内容はニュースリリース時点の内容となります。